



聴覚支援センターだより

川崎市立聾学校

2024年度 No. 1

<聾学校の“聴覚支援センター”の仕事を紹介します>

聴覚支援センターでは、きこえない・きこえにくいお子さんやそのご家族、川崎市内の園・学校などを対象に様々な支援を行っています。

今年度は、地域支援コーディネーター：鈴木由紀、通級指導教室担当：江守・海老沼・長谷川・鷲頭、言語聴覚士：加田が担当します。

学校や家庭での“きこえ”に関する様々な悩み・心配・疑問などをご相談ください。また、校内の児童生徒・保護者の相談にも応じています。ぜひご活用ください。

地域の小・中学校への支援

担当：鈴木由紀
(Co:地域支援コーディネーター)
特別支援学校のセンター的機能「地域支援部」として、難聴学級やきこえに課題のある児童生徒さんが在籍する学校を訪問し、学校・教師支援を行います。

補聴相談

担当：加田(ST:言語聴覚士)
聴力測定やきこえ・補聴に関する相談、ことば育てのアドバイスなどを行います。

聴覚支援センターだより

配布対象

- ・聾学校在籍保護者、
- ・乳幼児教育相談利用保護者、
- ・通級指導教室保護者・在籍校、
- ・難聴学級在籍児童生徒保護者・在籍校

掲載内容

- ・きこえについての理解啓発と生活や学習に役立てられる情報を提供することを目的に発行しています。

公開研修会や各種難聴研修会の開催

地域の難聴児童・生徒とかかわる方々と連携を図りながら、情報交換や難聴理解をはじめ、教材紹介や指導・支援の内容や方法について、きこえに関する研修会を行います。校内研修会のお手伝いもいたします。保護者向け学習会も行っています。

<夏季公開研修の計画・実施、保護者学習会>

地域の難聴児童生徒と関わる方々と連携を図りながら、情報交換や難聴理解をはじめ、教材紹介や指導・支援の内容や方法についてなど、きこえに関する研修会を行います。また、保護者学習会では情報提供を行い、きこえについての理解を深めながら、安心して楽しく子育てができるように支援すること、保護者同士が交流をしてつながれる場を設けることを目的に行います。

きこえの通級指導教室の紹介

担当：江守・海老沼・長谷川・鷺頭

聴覚支援センターの中の業務の一つに、通級指導教室があります。『きこえの通級指導教室』という名前で、川崎市立の小中学校の通常の学級に在籍しているきこえに障害がある児童生徒を対象として、指導・支援を行っています。年度初めのご挨拶として、そのご紹介をしたいと思います。

学習内容

<聴覚学習>

耳やきこえに関すること、補聴器に関すること、聴力測定の意義、聴取力の向上や活用など

<言語学習>

発音・発語に関すること、語彙の拡充や読み取りに関すること、構文・作文などの表現に関すること

<コミュニケーション>

コミュニケーションを楽しむ姿勢に関すること、情報保障について、自分の思いを表現することに関すること、よりよい人間関係の確立に関すること

<自己認識>

自己理解と必要な支援に関すること、活用できる施設・制度に関すること、進路に関すること

指導形態・場所

小学生

グループ指導



互いに『きこえにくさ』についての情報を交換しあうことで、ホッとできる場所となることを目指しています。

「設置校指導（月1回）」

児童が聾学校の指導室に来て、指導を受けます。

個別指導



安心して1対1で話せる環境で、クラスでは言いにくいきこえの話や困り感などについても話せるようにしています。

①「巡回指導（年7回）」

通級担当が在籍校へ出向いて、その一室で指導を行います。

②「設置校指導（年3回）」

児童が聾学校の指導室に来て、指導を受けます。

中学生

個別指導



安心して1対1で話せる環境で、クラスでは言いにくいきこえの話や困り感などについても話せるようにしています。

「設置校指導（月1回～）」

生徒が聾学校の指導室に来て、指導を受けます。

・グループで他の聾学校とのオンライン交流などもしています。